

学校法人ワタナベ学園

◆テーマ 域内の学校全体に関する環境を考慮した施設整備方針策定

◆事業概要・目的

地球温暖化対策は、子どもたちの将来を考える上で重要課題となっており、施設・設備の更新・充実を実施する際においても、園児及び学生の快適な学習環境を確保しつつ、省エネルギー対策や省CO2対策をあわせて実施することが重要だと考えている。

そこで、既存施設の環境を考慮した施設整備方針策定を前提として、施設・設備の更新・充実を図ることを検討する。

◆検討体制：「環境専門委員会」

- ・学校関係者 7名（理事長）
- ・コンサルタント会社 1名

◆検討方法

①先進事例調査

先進的な取り組みを行っている郡山開成学園における環境整備状況把握のために現地視察を行う。

②環境専門委員会

既存学校施設における環境対策推進のための課題整理、具体的な環境対策検討のために委員会を開催する。

◆具体的な対応方策

●各幼稚園における環境対策推進のための方策

本学園が運営する6幼稚園の中で、もっとも施設規模が大きく、エネルギー消費量が多い越谷保育専門学校附属幼稚園をモデルケースとして太陽光発電及び緑化について導入可能性に係る検討を行い、導入する際の留意事項のまとめとして、幼稚園の特性を踏まえ、各メニューごとのメリット・デメリットを整理した。

また、モデルケースの幼稚園での検討結果を踏まえ、他の幼稚園の実情を踏まえた整備方針についても整理を行った。

◆今後の展開

環境教育のための冊子は学生、生徒及び教職員の共通理解を図るため、学園関係者全員に配布する。また、学園ホームページに掲載し公開し、具体的な環境保全活動を起こすためのきっかけとする。